

令和3年度予算の概要等

レジリエンス(復元力)・
むかわ町の未来への投資

令和3年5月
 北海道むかわ町

令和3年度
町政執行方針及び
教育行政執行方針
↓全文はこちら↓



【むかわ町公式ウェブサイト】

<http://www.town.mukawa.lg.jp/3357.htm>

「むかわの底力」で **まちを耕し、未来へつなぐ**
おこ



「震災にもコロナ禍にも負けない、
最高傑作のつながるを創る、それが皆の願い。」

おこ
「むかわの底力でまちを耕し、
未来へつないでまいります。」

むかわ町長 竹中 喜之 (たけなか よしゆき)

☑令和3年度のむかわ町全会計の予算総額は、134億40百万円

☑北海道胆振東部地震による災害復旧事業、

応急仮設入居者の住まいの再建に向けた住宅整備等の大型事業が完了し、

前年度比▲11億43百万円（▲14.5%）と大幅に減少

☑震災や人口減少等により今後も町財政の厳しさは続く、この難局を乗り越えるためには

事業や施設の集約・効率化など町一体となった財政健全化が必須

☑これからの10年間のまちの将来像を示した「第2次むかわ町まちづくり計画」を

令和3年3月に町民の皆様とともに策定、

「人とつながる、笑顔でつながる、未来へつながるまち むかわ」

その実現に向けた第一歩としての予算を編成

(単位：百万円)

☑「行政改革大綱2021」「中期財政運営指針」に沿い、行財政の健全運営及び各施策を効率的・効果的に推進

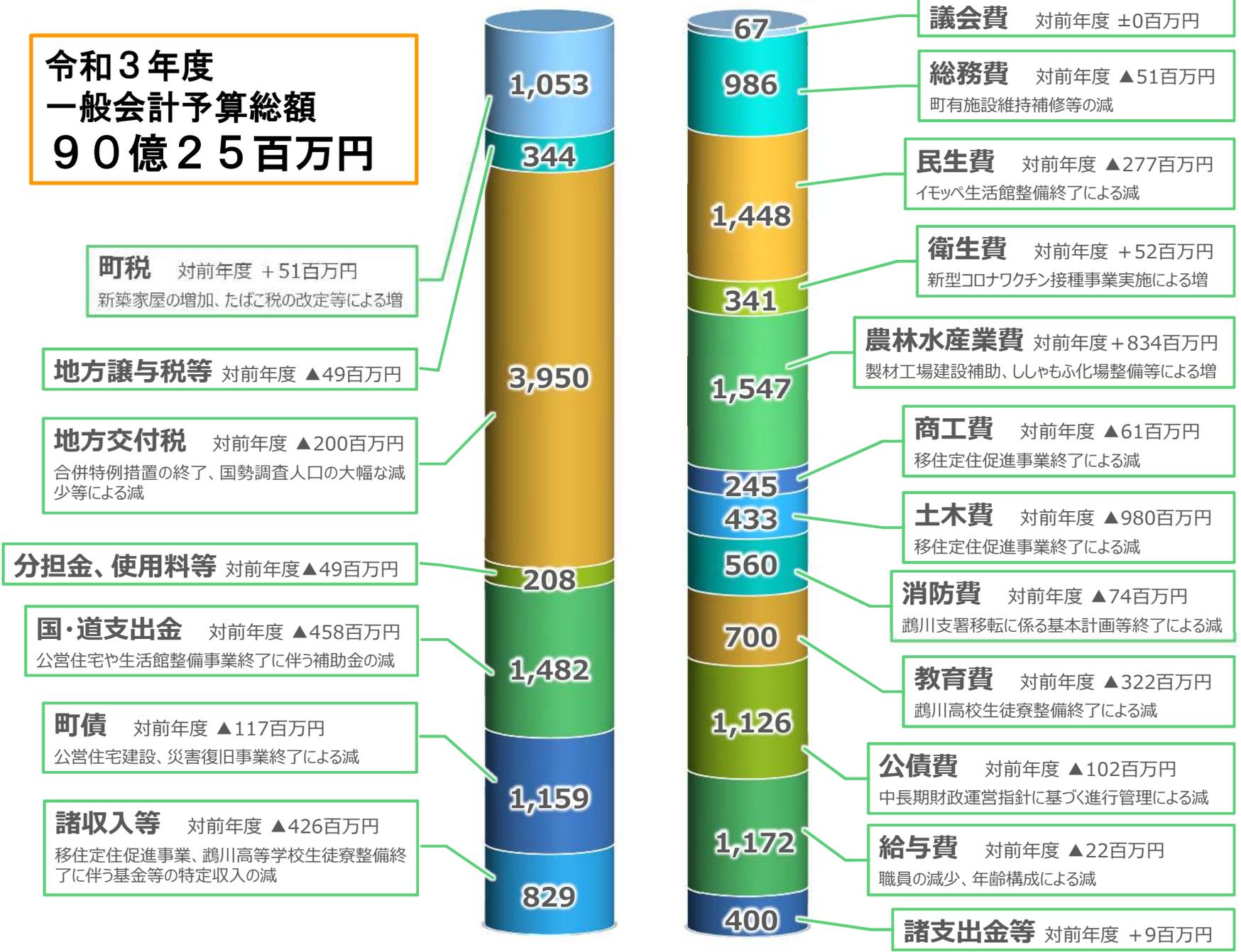
	一般会計	特別会計	企業会計	合計
令和3年度	9,025	2,703	1,712	13,440
令和2年度	10,223	2,771	1,590	14,584
比較増減	▲1,198	▲68	122	▲1,143
増減率	▲11.7%	▲2.5%	7.7%	▲7.8%

令和3年度
一般会計予算
歳入歳出

令和3年度
一般会計予算総額
90億25百万円

歳入

歳出 (百万円)



第3章 振り返り 令和2年度における
胆振東部地震 復旧・復興等



「仮設住宅」からの
住まいの再建を実現



「文京ハイツ」「末広団地」
の再建 建設



「仮設生徒寮」
からの移転を実現



「鶴川高校生徒寮」
の再建



「仮設店舗」の運営支援

様々な「連携協定」締結
地域活性化、防災力の向上



「災害復旧事業」
の進捗（99%完了）



「心のケア」など
被災された方々の
サポートを実施

「アパート建設費等助成」
による住環境の改善

「穂別町民センター」
の非常用発電設備を増強



「胆振東部地震からの復旧・復興を町一丸となって実施」

「第2次まちづくり計画」の策定

10年間のまちの未来設計図、
震災復興からその先の未来へ



人と自然が輝く
清流と健康のまち



「まちなか再生基本構想」の策定

両地区の再生を果たすために基本構想
を策定、今秋の再生計画策定に向けて



「JAむかわ穀類乾燥
調整施設」の再建支援



胆振東部地震で被災し再建
(令和元年度末完成、令和2年度竣工)

「JAとまこまい広域穂別
支所多目的農業倉庫」の建設支援



胆振東部地震で全壊した
レンガ倉庫の代替施設として

「イモッペ生活館」の建設



被災し解体した宮戸集会所の
代替施設としても活用、
アイヌ文化を未来へ継承

「いまだ復興の道半ばであり、これからも引き続き推進」

これまで新型コロナウイルスの**感染拡大防止**に全力で取り組み、

- ・ 公共施設における消毒用品を整備
- ・ 学校等における保健衛生用品を整備
- ・ 役場庁舎における分散勤務を実施
- ・ 感染予防対策等（自動手指消毒器、パーテーション、検温システム等）
- ・ コロナと初期症状で見分けのつきにくいインフルエンザの予防接種を助成
- ・ 重症化リスクの高い高齢者や感染後のリスクが高まる妊婦へマスクを配布
- ・ 胆振東部消防組合による感染症対応用の搬送用装置購入を支援
- ・ 感染症対策を強化するためトイレを洋式化
- ・ こども園等の衛生環境を強化

実施済

等



暮らしと**地域経済支援**に向けて、様々な事業を実施。



むかわっこ応援事業（特産品セット）

- ・ 休校・帰省自粛等の対応に強いられ、町外にいるむかわっこ（むかわ町出身学生）へむかわ町特産品を送付
- ・ 子育て世代等へ町金券と図書カードを贈呈
- ・ 高齢者等へ町金券と記念品等を贈呈
- ・ 在宅が多くなる高齢者等の健康管理を支援
- ・ 医療福祉介護事業者へ支援金を支給
- ・ 医療等従事者へ慰労金を支給

実施済

- ・ 商工業経営支援金を支給
- ・ 飲食店等経営支援金を支給
- ・ 感染症予防対策に取り組む飲食店等へ支援金を支給
- ・ 飲食店の持ち帰り商品PRを支援
- ・ 漁業者の出荷費用や販売促進等費用を支援
- ・ ホッキガイ漁業の単価下落による支援金を支給
- ・ 花き生産農家の出荷費用を支援
- ・ 地元木材活用によるベンチ、パーテーションを整備
- ・ エゾシカからの農作物被害防止対策を支援
- ・ 商工会によるプレミアム商品券の発行を支援
- ・ 観光協会による飲食店応援チケットの発行を支援
- ・ インターネット販売等の取組を支援

等

備え

- ・ 有事に備え、感染防止対策や経済対応等を柔軟かつ迅速に実施（令和3年度：40,000千円）

これからはそれらに加え、 未来に向けた 新たな環境整備 や

- ・ 情報通信網の強化（P10）
- ・ スマートフォンアプリ開発（P10）
- ・ リモートワーク環境整備（P11）
- ・ 観光拠点施設Wi-Fi整備（P11）
- ・ スマート農業（P12）
- ・ GIGAスクール構想によるICT教育の推進（P17） 等

新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進、

- ・ 苫小牧広域森林組合製材工場の整備支援（P13）
- ・ ししゃもふ化場の整備（P14）
- ・ 鵜川漁協作業施設等の整備支援（P14） 等

新たな暮らしのスタイルの確立を推進

- ・ サテライトオフィス整備（P11）
- ・ ワークेशन環境整備（P11） 等

未だコロナ禍は収まりませんが、
皆さまと一丸となり、
この難局をともに乗り越えましょう。
明けない夜はありません。

令和3年度においても、むかわ町は
震災からの復興、ポストコロナに
向けて全力で取り組んでまいります。

具体の事業紹介は次ページ から



健康でいきいきとした暮らしを創る

【新規】

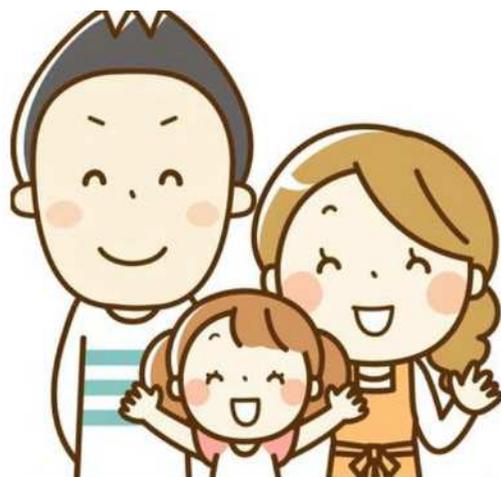
【事業名】「軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入助成制度」

【概要】身障者手帳交付対象外となっている難聴児に対して、補聴器の購入費用を助成。

むかわ町子育て
ガイドブックはこちら↓

【むかわ町公式ウェブサイト】

<http://www.town.mukawa.lg.jp/4121.htm>



切れ目のない 妊娠・出産・子育て支援

【事業名】「子育て支援医療費還元事業」

【概要】18歳までの医療費自己負担分を全額還元。

【事業名】「子育て応援・ごみ袋配布」

【概要】乳幼児のこまめなおむつ換え、廃棄で必要となる指定ゴミ袋を無料で配布。

【事業名】「子育てコンシェルジュ」の配置

【概要】子育て中の方を応援するため、それぞれのニーズに応じて認定こども園、地域保育所等の案内やむかわ町の子育てに関する情報提供、相談、助言を行う専門相談員を配置。

【事業名】「結婚新生活支援事業」

【概要】経済的理由により結婚に不安を抱える新婚世帯へ婚姻に伴う住居費や引っ越し費用を助成。

【事業名】「妊婦健康診査費還元事業」

【概要】妊婦健診、エコー検査費用の一部を還元。

【事業名】「妊産婦安心出産支援事業」

【概要】妊産婦の健診や出産に係る交通費を助成。

【事業名】「不妊治療助成事業」

【概要】道の助成事業に上乘せして町からも助成。

【事業名】「新生児聴覚検査費助成事業」

【概要】聴覚障害の早期発見につなげるために検査費用を全額助成。

健康でいきいきとした暮らしを創る

【事業名】「高齢者の保健事業と介護予防」の一体的な実施

【概要】高齢者の保健事業や介護事業を一体的に実施し、健康寿命の延伸を意識しながら、フレイル対策を強化し、住み慣れた地域で生き生きとした生活が送れるよう支援する。

※「フレイル」とは、加齢に伴う体や心の動き、社会的なつながりが弱くなるなど、衰え全般のことをいう。



【計画名】「むかわ町第6期障がい福祉計画・
第2期障がい児福祉計画」
「むかわ町第8期高齢者保健福祉計画・

介護保険事業計画」の推進

【概要】障がいのある方が地域で安全・安心な生活を送るための交流や活動の場の整備をはかるとともに、介護保険サービスの充実に努め、高齢者が元気で明るく過ごせる長寿社会を目指す。

清流と健康のまちむかわ町 高齢者・介護・福祉支援

【事業名】「福祉施設職員奨学金返還支援」【新規】

【予算】2,400千円

【概要】経済的な不安を払しょくし安心して町で働けるよう、一定条件のもと、介護等事業者や私立認定こども園で働く方が在学中に借り入れた奨学金の返還に対し、一部補助を行う。



安心・快適な生活環境を創る



- 【事業名】「**鷓川支署消防庁舎移転整備**」事業
【予算】総額1,325,277千円
【概要】平成30年北海道胆振東部地震で被災し、損壊した胆振東部消防組合消防署鷓川支署が、津波浸水想定区域内に位置しており、災害により強いまちづくりを進めるため、総合防災庁舎機能を付加し、内陸側への移転改築を行う。
(令和2年度：用地取得等 令和3年度：移転改築)

災害により強いまちづくり

【新規】

- 【事業名】「**ハザードマップ**」の改訂
【予算】6,567千円
【概要】海溝型地震の日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による津波の浸水予想区域が今年中に示される予定であり、被害を最小限にとどめるためハザードマップを改訂する。

【新規】

- 【事業名】「**総合防災庁舎機能**」の付加
【予算】(上記予算内数)
【概要】大津波時には、津波浸水想定区域内の町役場庁舎に代わり、移転する鷓川支署の新庁舎を災害対策の拠点として活用する。
また、新庁舎屋上を住民の避難場所としても解放する。

安心・快適な生活環境を創る



【事業名】 「高度無線環境整備推進」 事業 **【新規】**

【予算】 507,000千円

【概要】 脆弱な通信体制となっていた穂別地区を中心にむかわ町全体の情報通信網を強化し、インターネットの高速化を図ることでICT技術の活用環境を整備する。

穂別通信強化

【事業名】 「地域情報告知端末等整備」 事業

(情報告知端末の更新、スマートフォンアプリの導入)

【予算】 総額219,578千円 (令和2年度 91,516千円、
令和3年度128,062千円)

【概要】 穂別地区各戸に配置されている情報告知端末の更新とともに、無料のスマートフォンアプリを開発・導入し、平常時のみならず、災害等においても、必要な情報をどこにいても即座に得られるよう、情報伝達力を強化する。

情報伝達強化

むかわファンを増やし、賑わいと活力を創る

【事業名】「まちなか再生」

【予算】28,640千円

【概要】胆振東部地震により甚大な被害を受けたまちなかの再生に向けて、計画の策定や専門家招へい、賑わいの創出に向けた取組を行う。



震災復興

【事業名】「サテライトオフィス」の整備 **【新規】**

【予算】20,500千円

【事業名】「ワーケーション」等の環境整備

【予算】総額36,850千円（令和2年度14,700千円、
令和3年度22,150千円）

【概要】仮設住宅を再利用し、サテライトオフィスやリモートワーク、ワーケーション等のWi-Fi等環境整備を行うとともに震災復興のレガシーを創造する。



※「サテライトオフィス」とは、企業の本社等から離れたところに設置されるオフィスのこと。都市圏など町外企業等で働く方が、むかわ町に来て働くことができる。

※「ワーケーション」とは、「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語。キャンプ場で仕事しながら余暇を楽しむことや、本人は仕事をしながら家族がその時間はキャンプを楽しむなど、新しい働き方ができる。



むかわファンを増やし、賑わいと活力を創る

【事業名】「担い手の育成・確保」対策の推進

【予算】3,600千円

【概要】むかわ農業の持続的な発展と地域社会の活力を維持するため、「むかわ町地域担い手育成センター」へのサポートを行い、「むかわ町新規就農等受入協議会」と連携し、担い手の育成と確保を支援する。



【新規】

【事業名】農業・水産業における「担い手・労働力確保」※P14に記載

【事業名】「スマート農業」調査研究の支援

【予算】200千円

【概要】スマート農業の導入に向けた調査研究を支援する。



農業振興

【事業名】「地域農業活性化推進基金」

【予算】30,000千円

【概要】町とJAが出資した基金を活用し、農業生産対策として農業経営に資する生産者の取組を支援する。



【事業名】「中山間地域等直接支払交付金」

【予算】32,913千円

【概要】農業生産条件の不利な穂別地区において、集落等を単位に面積に応じて一定額を交付し、農業生産活動等を支援する。



【祝竣工】



(JAむかわ施設
再建支援)



(JAとまこまい広域
穂別支所施設 建設支援)

※P4に
記載
(再掲)

【事業名】「多面的機能支払交付金」

【予算】135,595千円

【概要】地域共同活動による農地・農業用水等の資源の保全管理と農村環境の保全向上の取組を支援する。

むかわファンを増やし、賑わいと活力を創る

【新規】

【事業名】「苦小牧広域森林組合製材工場」の整備支援

【予算】711,052千円

【概要】現工場はカラマツ小中径木の利活用を対象とした工場であるため、適切な森林整備を進めていく上で、高齢級間伐等の大径木に対応した整備が必要となっている。同組合による製材工場の新整備に向けて、国の補助金を活用しつつむかわ町としても独自に補助を行う。



【事業名】「地域主体の一体的な森林づくり」

【概要】国・道・町の三者での協定により、森林施業の一体的推進等を行い、循環型の森林づくりを推進する。

【事業名】「民有林振興対策事業」

【予算】29,657千円

【概要】民有林整備の促進と経営の安定を図る。

林業振興

【新規】

【事業名】「むか輪っこプロジェクト」

【予算】658千円

【概要】穂別産のイタヤカエデを使用した玩具である木の輪を乳児に配布し、にぎる・なめる・かむなどの遊びを通じて木と触れあい、親しみをもてる機会をつくる。



むかわファンを増やし、賑わいと活力を創る

【事業名】「ししゃもふ化場整備」【新規】

【予算】総額646,422千円（令和3年度106,040千円、
令和4年度540,382千円）

【概要】水産加工業、商業及び観光業を支える町の重要な資源、町魚であるししゃものふ化安定・増大を図るため、ふ化場建設を行う。また、事業の安定的な推進を図るため、基金を造成する。
(40,000千円)



漁業振興

【新規】

【事業名】「作業施設等整備支援事業」

【予算】33,500千円

【概要】水産物の単価低迷の対策として、本州等への取扱量を増加させるため、鶴川漁業協同組合が整備する作業施設等整備を支援する。



【事業名】農業・水産業における「担い手・労働力確保」【新規】

【予算】20,000千円

【概要】鶴川漁業協同組合が整備する担い手育成のための単身者向け住宅整備を支援する。また、JAむかわの寄宿舍整備を支援する。



【事業名】「ほたて稚貝放流」事業【新規】

【予算】9,000千円

【概要】水産物の単価低迷やししゃもの不漁等により収入が減少している漁業者及び漁協の所得向上のため、新たに取り組む「ほたて稚貝放流」事業を支援する。



むかわファンを増やし、賑わいと活力を創る

【事業名】「商工会」の運営支援

【予算】19,358千円

【概要】商工業の振興や中小企業経営改善、地域経済の活性化に向けての活動を支援する。

【事業名】「観光協会」の運営支援

【予算】17,481千円

【概要】様々な地域資源の利活用や広域的視点による観光等の推進活動を支援する。

【事業名】「プレミアム商品券」の発行支援

【予算】20,974千円

【概要】コロナ禍により落ち込んだ地域経済の活性化を図るため、町商工会によるプレミアム商品券の発行を支援する。

商工業振興

観光振興

【事業名】「起業力耕上促進」事業

【予算】8,000千円

【概要】地域資源の付加価値向上や新たな特産品・産業の創出、新規起業に対し、助成する。

【事業名】「地域商社 MDino」の運営支援

【予算】10,788千円

【概要】海の幸や山の恵み、恐竜化石など地域資源の経済付加価値を高め、利活用し、商品開発・起業支援など町の活性化を目指す地域商社の運営や体制強化を支援する。



【事業名】「関係人口・関心人口」の拡大 **【新規】**

【予算】300千円

【概要】むかわファンを増やし、賑わいと活力を生み出すため、(仮称)むかわ応援PR大使を委嘱し、SNSやマスコミ等を通じて情報を発信し、観光振興や町のイメージアップ等を図る。

むかわ地域商社



MDino

Regional trading company
in Mukawa-Hokkaido

むかわファンを増やし、賑わいと活力を創る

【事業名】「恐竜プロジェクト」事業

【予算】33,382千円

【概要】国内最大の恐竜全身骨格化石『通称：むかわ竜』（カムイサウルス・ジャポニクス）をはじめとした地域資源を活用し、観光振興や産業振興、町の魅力向上等を図る。



(主な内容)

- ・ 恐竜関連イベントの実施
- ・ 恐竜・化石発掘体験を中心とした町内の周遊観光・宿泊・滞在コンテンツのモデル商品の開発 (新規)
- ・ ARなどのデジタル技術を用いた恐竜PR商品の制作 (新規)
- ・ 子ども化石くらぶの実施
- ・ 大学や恐竜関係自治体等との連携
- ・ 「恐竜ワールドセンター」運営支援
- ・ 「地域商社 M D i n o」運営支援 (再掲)



地方創生



第5章 新規・拡充事業等（繰越含む）
令和3年度 注目事業のご紹介

楽しく学び、まちを支える人を創る



町外高校通学者の利活用も想定し、JR鶴川駅近くのム・ペット館で開設

【事業名】(仮称)「高等学校生徒放課後学習センター」の開設

【予算】25,589千円

【新規】

【概要】鶴川高校、穂別高校生徒や町内在住の町外高校通学者が無料で平日の放課後に学習を受けられる環境を整備する。また、地域おこし協力隊3名や外部専門家を活用して大学等への進学及び学習サポートや運営を行う。

【事業名】「ICT教育」の推進

【予算】5,756千円

【概要】GIGAスクール構想によるICT教育を推進し、小中学校における学習活動の一層の充実を図る。

高校魅力化

【新規】

【事業名】「青少年リーダー研修事業」の実施

【予算】170千円

【概要】町内の中高生20名程度を対象に講演・グループワーク・体験活動等の研修を行い、地域で活躍するリーダーを育成する。

学力・進学・育成支援

【事業名】「大学等進学奨励事業」の実施

【予算】3,800千円

【概要】町出身で町内に親が住み、大学や短大等に進学する生徒へ奨学金を給付する。

【事業名】「地域みらい留学365」の支援

【予算】390千円

【概要】日本初、高校2年生の1年間を地域で学ぶ国内単年留学「地域みらい留学365」の指定を受けた鶴川高校の留学募集・受入生徒を支援する。

みんなで支え合い、明るい未来を創る

【再掲】「まちなか再生」「恐竜プロジェクト」事業等

協働のまちづくり



基本的な考え方

むかわ町は、新町安定期での確実な歩みを進めるため、町長が2期目の基本姿勢に掲げた『「むかわの底力」でまちを耕(おこ)し、未来へつなぐ』をテーマに、協働のまちづくりに向けて6つの分野における各施策を推進します。



基本姿勢

町政

「むかわの底力」で
まちを耕し、未来へつなぐ



基本政策

～6つの政策の柱で
「地元力」をさらに耕上～

- 1 共に助け合い健康で安心して暮らせるまちづくり - くらす -
- 2 みんなが安全・安心に暮らせるまちづくり - まもる -
- 3 産業・経済から地域を元気にするまちづくり - はたらく -
- 4 多様な芽を育て生涯にわたって活躍できるまちづくり - まなぶ -
- 5 次代を見据えた協働のまちづくり - 未来へ -
- 6 多様なネットワークを大切にするまちづくり - つなぐ -



1 共に助け合い健康で安心して暮らせるまちづくり -くらす-

妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を実施します
 妊娠・出産・子育てに関する相談体制を充実します
 経済的に結婚に不安を抱える未婚者に対し、住居費や引越し費用を支援します
 高齢者が住み慣れた地域で生き生きとした生活が送れるよう健康づくりと介護予防を推進します
 障がいのある方の地域における交流や活動の場の整備をはかり、サービスを充実します
 「軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入助成制度」を創設します
 介護や私立認定こども園等で働く方向けの「奨学金返還に対する支援制度」を創設します
 特定健診などの受診機会を拡充し、健康維持・増進を図ります
 震災の影響による心身のケアを行います
 町と鶴川厚生病院、穂別診療所が連携し、地域医療の充実を図ります 等



2 みんなが安全・安心に暮らせるまちづくり -まもる-

平成30年北海道胆振東部地震からの復旧・復興を推進します
 防災・減災施設の整備と地域防災体制の強化、住環境の整備を推進します
 災害時の事前行動計画として策定した各種タイムラインの運用を図ります
 備蓄用毛布など防災用資機材の充実を図ります
 震災からの復旧・復興に向かう町の姿として「写真で見る災害記録誌」を作成します
 穂別地区のインターネットの高度化・高速化を行います
 情報告知端末及びスマートフォンアプリを活用して町からの情報伝達の強化を図ります
 総合防災庁舎機能を備えた消防署鶴川支署の庁舎建設を進めます
 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による被害を最小限にするためのハザードマップを改訂します
 防災訓練の実施や自主防災組織の立ち上げ等を支援し、災害に備えます
 各種道路・公園整備を行うとともに、福住たこ公園の老朽化した遊具を整備します
 空き家バンクの活用を図り、空き家・空地の適正な管理と有効利用を促進します
 未普及地域である一部地区の水道整備を実施するとともに老朽化した水道管の更新を行います 等

3 産業・経済から地域を元気にするまちづくり -はたらく-

担い手の育成や新規就農者の受入を行い、農業における担い手や労働力確保を進めます
 鷗川農業協同組合の寄宿舍確保を支援します
 スマート農業の調査・研究を進めます
 経営所得安定対策を進め、収益性の高い地域農業の実現をはかります
 災害に強い森林づくりと循環型の森林づくりを推進します
 苫小牧広域森林組合の製材工場の建設を支援します
 鷗川漁業協同組合員が新たに取組む「ほたて稚貝放流事業」を支援します
 鷗川漁業協同組合の新規就業者用住宅の建設を支援します
 ししゃもふ化場の建設を進めます
 震災により甚大な被害を受けたまちなかの再生を進めます
 地域商社による町内事業者等への商品開発や販路拡大等のサポート体制を後押しします
 商工会と観光協会を支援・連携し、地元商工業の活性化を図ります
 町のプロモーション強化を図ります 等

4 多様な芽を育て生涯にわたって活躍できるまちづくり -まなぶ-

震災による児童生徒の心のケアを行うとともに、全教職員のストレスチェックを実施します
 G I G Aスクール構想の実現を進めるとともに、デジタル教科書の導入を進めます
 「公営塾」を開設し、鷗川高校及び穂別高校並びに地元高校生へ学びの場を提供します
 「地域みらい留学365」事業による鷗川高校への留学生をまち全体で受け入れます
 高校の魅力化により地方創生を進めます
 総合型スポーツクラブ「むーブ」によるスポーツ活動の普及を支援します
 東京2020オリンピックの聖火リレー等を行い、町の復興の姿を発信します 等

5 次代を見据えた協働のまちづくり - 未来へ -

本町が誇る恐竜化石ブランドを活かし、町の賑わいや地域経済の活性化につなげます
子ども化石くらぶの実施やむかわ竜レプリカの展示等、地方創生と連携した取組を進めます
まちの魅力向上と交流、関係・関心人口の創出・拡大につながる取組を進めます
恐竜化石を活かしたまちづくりを進め、地方創生に取り組みます
むかわ地域商社と連携して、地域資源の磨き上げや地域創生ビジネスに取り組みます
「まちづくり耕上促進事業」により、まちの魅力創出や震災復興に寄与する取組を支援します 等

6 多様なネットワークを大切にするまちづくり - つなぐ -

これまで培ってきた人・資源・地域のつながりを軸に、関係・関心人口の拡大を図ります
ふるさと納税の充実や地方創生による持続可能なまちづくりを目指します
広域での自治体連携を進めます
地域共生社会の実現に向けて、地域の路線バスを整備します
JR日高線の廃線区間内である鷓川-汐見間は、町内路線バスを活用し、地域の足の確保を行います
JR日高線の鷓川-苫小牧間は、高校通学生徒の定期券購入助成を行い、利用促進を図ります
姉妹都市提携を結んでいる富山県砺波市との交流を促進します
「にっぽん恐竜協議会」にて道外関係自治体と恐竜化石を活かして連携します
「北海道恐竜・化石ネットワーク研究会」にて道内関係自治体と恐竜化石を活かして連携します 等

基本的な考え方

むかわ町の教育目標である「海・川・山の豊かな自然を生かし、人間愛に満ちた活力ある『むかわ』の人づくりをめざす」ことを基調とし、むかわ町教育大綱の方針に基づき、各施策を推進します。

教育目標

教育

「海・川・山の豊かな自然を生かし、
人間愛に満ちた活力ある『むかわ』の人づくりをめざす」

1 学校教育

学校の教育力の向上と教育環境の整備・充実を進めます
 学校教育アドバイザーを配置し、学校運営全般へのきめ細かな指導と学力向上対策を実施します
 「家庭学習の手引き」を作成・活用し、学校・家庭・地域が連携した取組を進めます
 小学校においては、チーム・ティーチングなど、きめ細かな指導を行うための体制を確保します
 中学校においては、個々の能力に合った習熟度別少人数指導等にも取り組みます
 G I G Aスクール構想によるICT教育を推進します
 外国語指導やプログラミング教育の充実を図ります
 これからの地域を担う人材の育成を目指し、公営塾を開設します
 大学進学等助成金の給付を行います
 いじめを生まない教育活動を行うとともに、いじめ・不登校の未然防止や学級崩壊の予防をします
 学校給食を活用した「食育」と、「コーディネーショントレーニング」の普及を行います
 地域全体で学校運営を応援していく活動の充実を図ります
 各学校、関係機関と連携し、専門性が高くきめ細やかな特別支援教育を推進します
 学習面での補助を行う支援員や、学校生活の支援を行う介助員を継続して配置します

1 学校教育

町との包括連携協定に基づき鶴川・穂別両高等学校の魅力化を支援します
 むかわの地域資源や良さに着目したふるさと教育である「むかわ学」を推進します
 鶴川高校野球部生徒や地域みらい留學生徒をまち全体で受け入れ、地域の活性化につなげます
 苫小牧・鶴川間の通学バスの運行やJR定期券の給付を継続し、町外からの生徒の確保を図ります
 穂別高校での小中高ふるさとキャリア教育推進や穂星寮の充実等、穂別ならではの取組を図ります 等

2 社会教育

生涯を通じて自ら進んで豊かに学ぶ環境づくりを推進します
 子どもたちを守り育てる安全・安心な地域づくりを推進します
 少年の主張大会、読書感想文コンクール、あいさつ運動等、青少年の育成を促進する取組を実施します
 ふれあい大学やことぶき学級等、成人や高齢者教育を推進します
 文化協会、体育協会、NPO法人「むーブ」へ支援し、文化・スポーツ活動を推進します
 総合文化祭・町民文化祭の開催や歴史的文化遺産の保存活用を図ります
 生涯学習基金を活用した指導者養成や活動支援、全道・全国大会への出場支援を行います
 東京2020オリンピック聖火リレー等の実施を通じてスポーツへの興味・関心を促進します
 穂別図書館及びまなびランド図書室の充実を図り、家庭教育の向上や地域文化等を高めます
 ブックスタート事業やボランティア団体等による読み聞かせの実施等、読書活動を促進します
 穂別博物館にて、町民の知的関心に応える活動を推進します
 化石に係る普及活動や関連大学との連携、恐竜・化石産出自治体との連携を推進します 等

「町長町政執行方針」及び「教育行政執行方針」の全文は、
 むかわ町公式ウェブサイトに掲載しています。



【むかわ町公式ウェブサイト】<http://www.town.mukawa.lg.jp/3357.htm>